

✻ 校報松風

新山小学校 学校だより
令和6年度 第28号
令和7年1月20日

学力調査結果

全国学力・学習状況調査 (令和6年4月 6年生実施)

今年度始まってすぐの4月18日(木)に6年生が実施しました。

国語と算数の2教科の実施でしたが、全国トップレベルの秋田県の平均正答率と比較したとき、本校の6年生は国語・算数ともにやや下回るという結果でした。観点で見ると、国語の知識・技能の観点で言葉に関する項目は県平均を上回りましたが、思考・判断・表現の観点は県平均を下回りました。算数は観点による傾向はあまり認められず、設問(単元)によって正答率にばらつきが見られました。

	国語	算数
秋田県との比較	やや下回る	やや下回る
全国との比較	やや上回る	同程度

質問紙調査(学習への取り組み方や生活の様子)では、「健康・安全に関する意識」や「社会に貢献したいという意欲」で肯定的な回答が県平均より多く、意識の高さが認められました。反面、大きな問題点と言えるのが「普段の日のゲームの時間」です。「4時間以上」という回答が27%に達していました。改善を要します。

※裏面に、由利本荘市教育委員会でもとめた結果概要を載せましたので、併せてご覧ください。

秋田県学習状況調査 (令和6年12月 4～6年生実施)

12月4日(水)に4年生以上で実施しました。下記は、秋田県の平均正答率との比較です。ほとんどの教科で県平均を上回りました。しかし、一部教科及び問題によって、それぞれの学年で課題が見つかっております。年度内での回復を図ります。

学年	国語	算数	理科	社会
4年	やや上回る	同程度	やや下回る	
5年	やや上回る	やや上回る	やや上回る	下回る
6年	やや上回る	やや上回る	上回る	大きく上回る

質問紙調査では、全体として肯定的な回答の割合が高く、秋田県の平均とも同程度であったため、特筆すべき課題は認められませんでした。その中で、「勉強は大切だ」の設問は肯定的な回答が比較的多いのに対して「勉強が好きだ」の項目は肯定的な回答が低い傾向が見られました。また、「家庭学習の時間」は、全県と比較して短い傾向を示しました。家庭学習の時間については、前述の「ゲームの時間」と無関係ではないと考えられます。さらに、「学校のきまりを守っている」への4・5年生の肯定的な回答の割合が低く、今後改善に向けての取組が必要と言えます。

※秋田県学習状況調査の結果を示す個人票は、1月中に配付する予定です。

令和6年度 本市の全国学力・学習状況調査結果

1 調査の概要

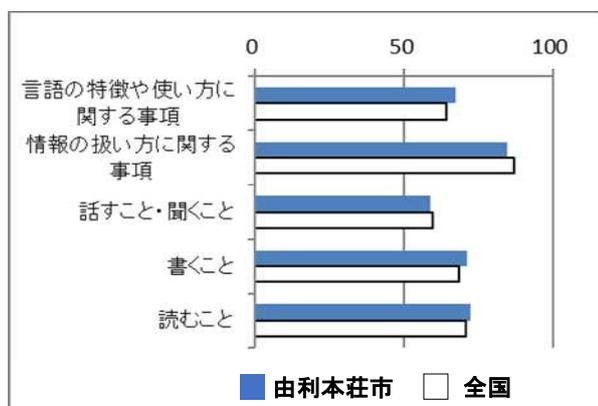
本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学習指導の改善を図る目的で、平成19年度から実施されています。全国の小学6年生と中学3年生が対象で、今年度は令和6年4月18日（木）に実施されました。

2 調査の内容

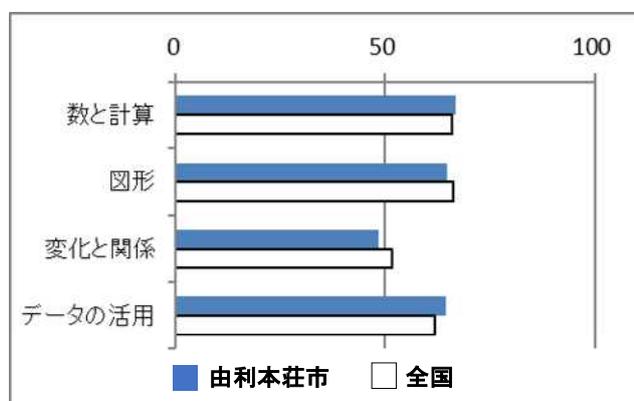
調査内容は、小学校が国語と算数、中学校は国語と数学が実施され、学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題が出題されました。また、調査する学年の児童生徒を対象とした学習習慣や生活習慣等に関する児童生徒質問紙調査と、各学校の校長が回答する教育環境等に関する学校質問紙調査が実施されました。

3 本市の結果について（授業改善に生かすため、領域ごとにグラフでの比較としています）

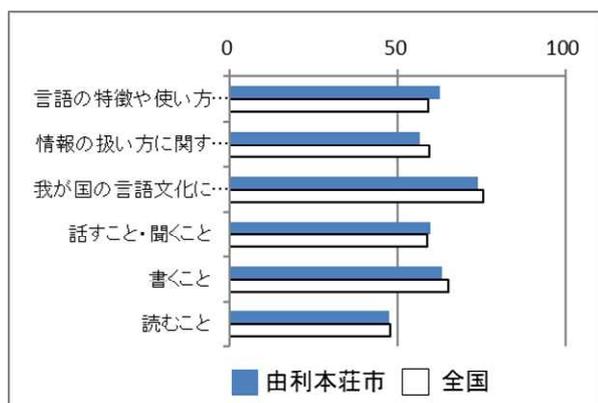
＜小学校国語＞



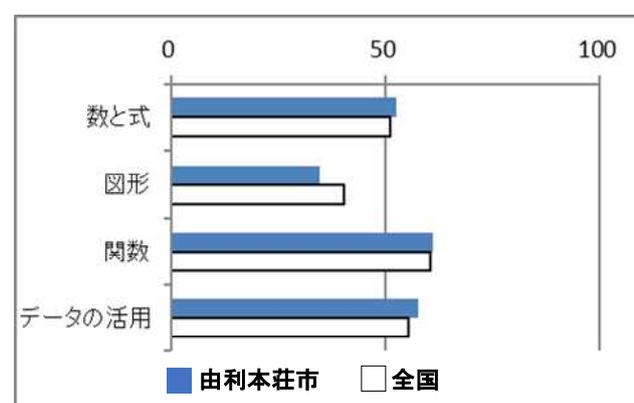
＜小学校算数＞



＜中学校国語＞



＜中学校数学＞



質問紙調査からは、小学校・中学校ともに、地域や社会をよくするために自分が何かしてみたいとの回答が昨年度同様、全国平均を大きく上回っていました。由利本荘市の地域を素材としたふるさと教育が児童生徒によりよく反映されていることが分かる結果となりました。その一方、1日あたりの学習時間は減少傾向にあります。また授業でのICTの活用については、3年連続増加していますが、全国と比較すると下回っている状況です。放課後の時間とICTのより有益な使い方について、さらに改善していく必要があります。